

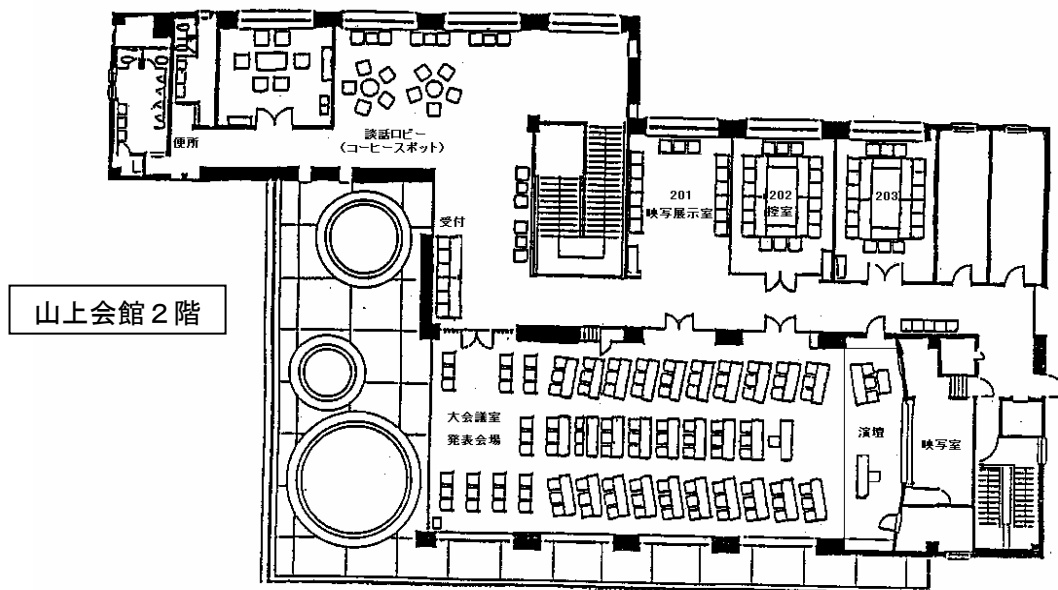


# 日本災害情報学会 第6回学会大会プログラム

東京大学 山上会館

11月19日(金)	開 会	午前9時30分	～	午前9時35分
	研究発表(1日目)	午前9時35分	～	午後5時55分
	緊急報告 (理事会)	午前11時30分	～	午後0時30分
		午後0時30分	～	午後1時15分
	懇親会	午後6時10分	～	午後8時00分
11月20日(土)	研究発表(2日目)	午前9時30分	～	午後0時55分
	総 会	午後1時40分	～	午後2時10分
	特別講演	午後2時15分	～	午後3時15分
	シンポジウム	午後3時25分	～	午後5時25分
	閉 会	午後5時25分	～	午後5時30分

参加費：会員 1,000 円（非会員 3,000 円） 予稿集代：会員 2,000 円（非会員 3,000 円）  
懇親会：5,000 円（東京大学 山上会館内 1 階談話ホール）



第6回大会実行委員会：委員 長 阿部勝征（東京大学）  
副委員長 鷹野 澄（東京大学）  
委 員 土井恵治（東京大学） 中村 功（東洋大学）  
中森広道（日本大学） 天野 篤（アジア航測）  
宇田川真之（建設技術研究所） 中辻 剛（気象庁）  
水村淳一（日本損害保険協会）

**11月19日（金）** 進行 川端信正理事

**【開 会】** 午前9時30分 挨拶 廣井 脩 日本災害情報学会会長

**【研究発表】** 午前の部 午前9時35分～午前11時20分（座長 中村 功）

○印：講演者 講演持ち時間 15分（発表10分、質疑など5分）

### 地震防災・災害情報

- 9:35 「**宏観異常情報と地震との関係 ー兵庫県南部地震を例にー**」  
○富士越暁（岡山理科大学大学院） 能美洋介（岡山理科大学）  
岡本和人（NPO 法人大気イオン地震予測研究会 e-PISCO）  
弘原海清（NPO 法人大気イオン地震予測研究会 e-PISCO）
- 9:50 「**河角の69年周期説は正しかった？**」  
○伯野元彦（攻玉社工科短期大学）
- 10:05 「**浮体式免震システムの試設計**」  
○谷垣信吉（三菱重工業株式会社長崎研究所）  
松浦正己（三菱重工業株式会社長崎研究所）  
大倉一政（三菱重工業株式会社横浜製作所）  
斉藤賢二（株式会社NTTファシリティーズ）  
渡邊英一（京都大学大学院工学研究科）  
宇都宮智昭（京都大学大学院工学研究科）
- 10:20 「**東南海地震と新聞検閲 ー内務省検閲課勤務日誌に見るー**」  
○泊 次郎（東京大学総合文化研究科）
- 10:35 「**地震予知情報に対する市民の意識について（防災行動に着目して）**」  
○竹田宜人（東京都立大学都市科学研究科）  
中林一樹（東京都立大学都市科学研究科）
- 10:50 「**2003年十勝沖地震における津波避難行動 ー住民聞き取り調査を中心にー**」  
○中村 功（東洋大学） 中森広道（日本大学） 福田 充（日本大学）  
関谷直也（東京大学） 廣井 脩（東京大学）  
吉井博明（東京経済大学） 田中 淳（東洋大学）  
三上俊治（東洋大学） 松尾一郎（株式会社建設技術研究所）  
宇田川真之（株式会社建設技術研究所）
- 11:05 「**気象庁の緊急地震速報について**」  
○斎藤 誠（気象庁）

< 休憩 10分間 >

**【緊急報告】** 午前11時30分～午後0時30分 研究発表会場（進行）川端信正理事

○印：講演者 講演持ち時間 20分（発表15分、質疑など5分）

### 2004年新潟県中越地震災害速報

- 11:30 「**2004年新潟県中越地震 ー地震活動の概要ー**」  
○土井恵治（東京大学地震研究所助教授）

11:50 「2004年新潟県中越地震における地盤変状に伴う被害と避難の実態」  
○陶野郁雄（山形大学理学部教授）

12:10 「2004年新潟県中越地震における情報伝達の諸問題」  
○中村 功（東洋大学社会学部教授）

< 昼休み・理事会 45 分間 >

**【研究発表】** 午後の部① 午後 1 時 15 分～午後 3 時 30 分（座長 干川剛史）

○印：講演者 講演持ち時間 15 分（発表 10 分、質疑など 5 分）

### 防災情報システム・災害報道

13:15 「ブロードバンド時代の地震防災情報ネットワーク」  
○鷹野 澄（東京大学地震研究所）

13:30 「インターネットウェブページによる地震災害情報の利用実態調査」  
○佐藤 健（東北大学災害制御研究センター）  
久田嘉章（工学院大学） 源栄正人（東北大学災害制御研究センター）

13:45 「災害発生時における電子的情報要求動態の一考察」  
○畑 雅之（公立はこだて未来大学） 松原 仁（公立はこだて未来大学）

14:00 「災害情報ポータルサイト構築に向けて－災害時における IT を活用した情報共有・交換システムづくりへの取り組み－」  
○干川剛史（大妻女子大学人間関係学部）

14:15 「三重県防災情報提供プラットフォーム（防災みえ.JP）の運用と課題について」  
○水上知之（三重県防災対策室）  
神吉千太郎（アジア航測株式会社中部コンサルタント部）

14:30 「災害とコミュニティ FM 放送」  
○弘中秀治（宇部市総務部防災課）  
三浦房紀（山口大学工学部知能情報システム工学科）  
井上 悟（株式会社エフエムきらら）

14:45 「自治体の災害時広報の標準化促進の提案」  
○指田朝久（東京海上日動リスクコンサルティング株式会社）

15:00 「外国人への災害情報提供－多言語防災情報翻訳システムの構築－」  
○佐藤久美（名古屋大学大学院国際開発研究科）  
岡本耕平（名古屋大学大学院環境学研究科）  
田中正造（トライデントコンピューター専門学校）  
宮尾 克（名古屋大学情報連携基盤センター）

15:15 「外国人に対する災害情報の伝達手段について」  
○蔡 垂功（阪神・淡路大震災記念協会 人と防災未来センター資料室）

< 休憩 10 分間 >

**【研究発表】** 午後の部② 午後3時40分～午後5時55分 (座長 中川和之)

○印：講演者 講演持ち時間 15分 (発表10分、質疑など5分)

**防災対策・危機管理・防災教育**

- 15:40 「シンポジウム「今、災害時の情報を問う。」に関するアンケート調査結果について」  
○光成政和 (国土交通省河川局河川計画課)  
加藤 樹 (毎日新聞大阪本社広告局第三広告局)
- 15:55 「火山ハザードマップの評価について」  
○小林幹男 (国土交通省河川局砂防部)  
大野宏之 (国土交通省河川局砂防部)  
田中昌之 (国土交通省河川局砂防部)  
安養寺信夫 (財団法人砂防・地すべり技術センター)  
吉田真也 (財団法人砂防・地すべり技術センター)
- 16:10 「大規模災害等に対する簡易で実践的な図上訓練システムの提案」  
○大淵達雄 (株式会社宮崎情報処理センター)  
日野宗門 (財団法人消防科学総合センター)  
山根淳一 (株式会社宮崎情報処理センター)
- 16:25 「災害対応/意志決定支援のためのモデリングアーキテクチャの研究—シミュレーションサービスによる新たな水災情報ビジネスモデルの提案—」  
○五十嵐孝浩 (パシフィックコンサルタンツ株式会社流域計画部)  
飯田進史 (パシフィックコンサルタンツ株式会社河川部)
- 16:40 「足元の東海地震を大学生はどう伝えたいか —静岡大学での集中講義WSから—」  
○中川和之 (時事通信社)
- 16:55 「中学生を対象とした地震・津波実験学習の取り組みとその課題」  
○安倍 祥 (東北大学大学院工学研究科)  
今村文彦 (東北大学災害制御研究センター)  
牛山素行 (東北大学災害制御研究センター)
- 17:10 「日本における子ども向け防災・災害資料の現状について」  
○堀田弥生 (独立行政法人防災科学技術研究所)  
佐藤照子 (独立行政法人防災科学技術研究所)  
納口恭明 (独立行政法人防災科学技術研究所)
- 17:25 「災害を引き起こす自然現象を素材とする科学教育」  
○納口恭明 (独立行政法人防災科学技術研究所)  
湯本道明 (独立行政法人防災科学技術研究所)
- 17:40 「災害体験情報共有システムの活用」  
○中根和郎 (独立行政法人防災科学技術研究所)

< 休憩 15分間 >

**懇 親 会**

午後6時10分～午後8時00分 館内1階 (参加費 5,000円)

**【研究発表】** 午前9時30分～午後0時55分（座長 渡辺 実・中森広道）

○印：講演者 講演持ち時間 15分（発表10分、質疑など5分）

**風水害・土砂災害**

- 9:30 「行政資料を利用した過去の災害履歴調査－福岡県太宰府市の例－」  
○磯 望（西南学院大学文学部）  
後藤健介（西南学院大学文学部/日本学術振興会特別研究員）  
宗 建郎（九州大学大学院人文科学府）  
黒木貴一（福岡教育大学教育学部）  
陶野郁雄（山形大学理工学研究科）
- 9:45 「Using Synthetic Aperture Radar Imagery with GIS for Flood Damage Estimation」  
○A.M.DEWAN(岡山大学) 西垣 誠（岡山大学）
- 10:00 「カリブ海諸国における Hurricane Ivan の被害と対応」  
○荒木田勝（アジア防災センター） 大井英臣（国際協力機構）  
西村善彦（国際協力機構） 北本政行（アジア防災センター）
- 10:15 「平成16年7月福井豪雨による土砂災害の特徴」  
○牧 澄枝（アジア航測株式会社西日本コンサルタント部）  
岡野和行（アジア航測株式会社西日本コンサルタント部）  
天野 篤（アジア航測株式会社本社営業部）
- 10:30 「日本社会の弱点を見せつけた災害－平成16年7月新潟・福井豪雨災害から何を学ぶのか？－」  
○渡辺 実（株式会社まちづくり計画研究所）
- 10:45 「災害時における要援護者への支援活動～新潟・福井豪雨災害における三条市災害ボランティアセンターの事例から～」  
○浦野 愛（特定非営利活動法人レスキューストックヤード）  
菅磨志保（阪神・淡路大震災記念協会 人と防災未来センター）
- ＜ 休憩 10 分間 ＞
- 11:10 「2003年7月水俣市土石流災害時の地域住民の行動・判断に関する調査」  
○河野祐次（長崎大学大学院） 高橋和雄（長崎大学工学部）  
中村聖三（長崎大学工学部）
- 11:25 「平成15（2003）年熊本県水俣市土石流災害における住民の対応」  
○中森広道（日本大学文理学部社会学科）  
廣井 脩（東京大学大学院情報学環）  
関谷直也（東京大学大学院） 中村 功（東洋大学社会学部）  
宇田川真之（株式会社建設技術研究所）
- 11:40 「自助・共助の防災活動を支援する情報のあり方に関する考察～住民が直感的にわかりやすい情報とは＝洪水を事例として＝～」  
○後藤祐輔（財団法人日本気象協会）  
辻本浩史（財団法人日本気象協会）  
櫻井康博（財団法人日本気象協会）  
石井琢哉（財団法人日本気象協会）

- 11:55 「福岡での河川氾濫と防災気象情報の利活用ーホームページによる観測データの公開と電子メールの相乗効果ー」  
○原田恒夫（財団法人日本気象協会技術開発本部）  
泉 正彦（福岡市市民局危機対策室）
- 12:10 「レーダー雨量計を用いた過去降雨検索システム」  
○川村剛士（財団法人河川情報センター河川情報研究所研究第一部）  
深見親雄（財団法人河川情報センター河川情報研究所研究第一部）  
新部明郎（財団法人河川情報センター河川情報研究所研究第一部）
- 12:25 「防災科研における台風災害データベースシステムの構築(2)」  
○湯本道明（防災科学技術研究所） 松浦知徳（防災科学技術研究所）
- 12:40 「洪水被害の防止・軽減のためのソフト対策ー洪水ハザードマップ作成の現状と課題ー」  
○新村光男（社団法人日本損害保険協会）

< 昼休み 45 分間 >

**【総 会】** 午後 1 時 4 0 分～午後 2 時 1 0 分 研究発表会場

**【特別講演】** 午後 2 時 1 5 分～午後 3 時 1 5 分 研究発表会場 （進行）五味陸仁理事

「首都圏直下地震の火災危険を考えるー阪神大震災に学んでー」

室崎益輝 消防研究所理事長（前神戸大学教授）

**【シンポジウム】** 午後 3 時 2 5 分～午後 5 時 2 5 分 研究発表会場 （進行）五味理事

テーマ 「平成 16 年 7 月豪雨における災害情報の問題点」

後 援 国土交通省 NHK 新潟放送局

コーディネーター 藤吉洋一郎 大妻女子大学教授 NHK 解説委員

パネリスト 市澤成介 気象庁予報部予報課長

片田敏孝 群馬大学助教授

田中 淳 東洋大学教授

布村明彦 国土交通省河川局河川計画課長

松本浩司 NHK 報道局気象・災害センター記者

**【閉 会】** 午後 5 時 2 5 分 挨拶 阿部勝征 第 6 回学会大会実行委員長

※ 会場の PC を使用する方は、遅くとも各セッション開始前の休憩時間迄にファイルを係まで提出してください。

# 研究発表大会会場 山上会館 案内

東京大学 本郷キャンパス内 東京都文京区本郷 7-3-1 電話 03-5841-2320



## 《交通案内》

※地下鉄各駅より徒歩 約10分

丸の内線・大江戸線「本郷三丁目駅」 千代田線「根津駅」 南北線「東大前駅」

※JR中央線 御茶ノ水駅よりバス

学07 東大構内行き 「東大構内」下車

※JR山の手線など上野駅より

徒歩約15分 または、バス 学01 東大構内行き 「東大構内」下車

## 《宿泊案内》

※各自でお願いします。

(参考) 旅の窓口 <http://www.mytrip.net/>

ベストリザーブ <http://www.bestrsv.com/>